

開催年月日 平成30年11月26日

質問者 公明党 吉井 透 委員

担当部課 総合政策部航空局航空課

質問要旨	答弁要旨
<p>一 旭川空港国際線ターミナルビルについて 旭川空港においては、これまで国内線と国際線を共用で使用していたターミナルビルを拡張して、国際線専用ターミナルを新たに整備し、先の11月22日にオープンをしたところであります。これによって、海外へ渡航する道民の利便性向上はもとより、外国人観光客を受け入れる体制が強化をされたものと考えております。そこで、以下、数点に渡ってお伺い申します。</p> <p>(一) 国際線ターミナルビル増築の目的等について まず、旭川空港の国際線ターミナルビルについて、増築の目的と概要について伺います。</p> <p>(二) 国際航空路線の動向について 次に、旭川空港の国際航空路線の最近の動向について伺います。</p> <p>(三) 旭川空港の役割について 道内には13の空港があり、また、空港の一括民間委託も控えている中で、旭川空港が果たす役割について、道はどのように考えているのか伺います。</p>	<p>【航空課長】 国際線ターミナルビルの増築についてであります。旭川空港ターミナルビル株式会社によりますと、今回の増築は、インバウンドの増加と、国際線需要の高まりを捉え、現ターミナルの国際線運航時の狭隘化を解消し、利用環境の改善と国際線の利用拡大を図ることを目的に実施されるものであり、チェックインカウンターや出発ロビーの拡張に加え、CIQ施設や搭乗待合室の利便性も向上させたところです。 今後については、エプロンの拡張や観光バスターミナルの移設、駐車場の新設なども予定されております。</p> <p>【航空課長】 国際線の動向についてでございますが、旭川空港では、これまで、台北との間で、エバー航空が季節定期便を運航するとともに、本年3月からは、タイガーエア台湾が通年で定期便の運航を開始しております。 また、この夏には、韓国の航空会社5社が、ソウル、釜山といった各都市からチャーター便を運航するなど、国際線の運航には、活発な動きが見られたところです。 道といたしましては、季節定期便やチャーター便の積み重ねが通年で定期便就航に繋がるものと考えておりまして、引き続き、旭川空港の国際航空路線の誘致に積極的に取り組んでまいります。</p> <p>【航空局長】 旭川空港の役割についてでございますが、旭川空港周辺には、旭山動物園や大雪山国立公園をはじめ、富良野・美瑛といった北海道が誇る観光スポットが多く、外国人観光客の一層の増加が期待できる地域でございます。 また、旭川空港は、国に認定された広域観光周遊ルートにおける空の玄関口のひとつであり、JRやバスなど他の交通モードと組み合わせることにより、広域観光を楽しんでいただける重要な空港であると認識しております。 道といたしましては、旭川空港が道北地域全体の活性化に貢献する空港としてより一層発展するよう、地元自治体など関係の皆様と連携して取り組んでまいります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(四) 今後の取組について</p> <p>最後の質問ですが、新たにオープンした旭川空港の国際線ターミナルを有効活用し、地域の活性化を図っていくためには、既存路線の拡充、そして新たな路線の誘致が必要と考えます。今後、道はどのように取り組んでいくのか伺います。</p> <p>最後に交通企画監からご答弁をいただきましたが、旭川空港、今回の呼称が「北海道の真ん中・旭川空港」、ということアピールをしていくということで、道北・道東の要の空港になるということであると思えます。</p> <p>地震等の影響があつて、誘客・インバウンドが道央地域に滞留していることもありますけれども、特に道東・道北の観光・インバウンドをしっかりと収容させていく施策、そのための航空会社はまだ今はタイガーエア台湾だけが就航しているということですが、そうした誘致活動をしっかりと道のほうにもお願いをしまして、質問を終わります。</p>	<p>【交通企画監】</p> <p>今後の道の取組についてでございますが、今回の旭川空港の国際線ターミナルビル増築によりまして、利用者の方々の利便性が向上し、道民の皆様の国際線の利用や外国人観光客の方々の増加が期待されるところでございます。</p> <p>また、韓国や台湾などリピーターのお客様を多く運ぶ東アジアの航空会社にとって、広域観光周遊ルートの空の玄関口のひとつでもございます。</p> <p>道北や道東へのアクセスのよい旭川空港は、今後の就航地の有力な候補となるとともに、道北地域の中核空港として、さらに成長していくものと考えてございます。</p> <p>道といたしましては、今後とも、旭川空港をはじめといたします、道内各空港の地元自治体や空港関係者の皆様と連携をし、航空会社への誘致活動に積極的に取り組み、道内空港の国際航空ネットワークの拡充を引き続き図ってまいりたいと考えてございます。</p>